

新たな病児・病後児保育施設の整備を支援します

大府市は、病児・病後児保育の受け皿を拡充するため、国の子ども・子育て支援施設整備交付金などを活用し、令和6年秋に共和病院の敷地内に新たな病児・病後児保育施設の整備を進めるにあたり、整備や運営に係る費用を補助し、設置者を支援します。

病児・病後児保育は、急な病気で保育園などに預けることができない子どもを保護者に代わって預かる制度で、大府市では、病気のこどもの自宅などに保育スタッフを派遣する派遣型と、医療機関に併設した施設で保育する施設型の2種類の事業形態を行っています。

なお、関連費用については、6月議会で補正予算案を上程する予定です。

■新たな病児・病後児保育施設整備の概要

開設予定 / 令和6年秋頃

場 所 / たんぽぽ保育園内（梶田町 2-156）

設置者 / 特定医療法人共和会

内 容 / 病児・病後児の保育

定 員 / 3人

6月補正予算額 / 18,878,000円（施設整備費 11,379,000円、運営費 7,499,000円）

■大府市の病児・病後児保育制度と実施主体の概要

市内には、医療機関に併設した施設型の病児・病後児保育施設が1カ所あり、自宅などに保育スタッフを派遣する派遣型は、市内3つのNPO法人が実施しています。

施設型 / はやかわ耳鼻咽喉科クリニック病児保育室「ぞうさん」（東新町 2-140）

※令和6年4月からは、名古屋市との相互利用協定の締結により名古屋市内の病児・病後児保育施設も利用できます。

派遣型 / NPO法人福祉サポートセンターさわやか愛知（共栄町 2-420-1）

NPO法人ネットワーク大府（森岡町 1-30）

NPO法人みらいっこ・キッズハウスひなたぼっこ（北山町 1-83）

【問い合わせ先】

大府市幼児教育保育課

担当：横井 恵太（ヨコイ ケイタ）

電話：0562-85-3895 FAX：0562-47-2888 メール：hoiku@city.obu.lg.jp